



C. BECHSTEIN
KLAVIERSCHULE

ピロタマカルテット名曲シリーズvol.1

2台8手によるモーツァルト&ベートーヴェン

2020年
2/15(土)
18:30開場
19:00開演

ピロタマカルテット
Pirotama Quartet

有森博
伊達広輝
高井玄樹
間世田采伽
(ピアノ)



モーツァルト(レスラー編曲) : フィガロの結婚序曲
モーツァルト(ブルチャード編曲) : 交響曲第41番ハ長調 K.551「ジュピター」
ベートーヴェン(サウマン編曲) : 交響曲第7番イ長調 作品92

～ 出演者よりメッセージ ～

この度2台ピアノアンサンブル好き四人が集まって名曲シリーズコンサートを始めさせていただくことになりました。ピロタマカルテットとは有森博、伊達広輝、高井玄樹、間世田采伽の名字と名前の読み方を駆使し、リズムカルな並びにした結果こうなりました! 今回のプログラムはモーツァルトとベートーヴェンのオーケストラの名曲を2台8手による新しい響きで存分にお楽しみいただける内容となっております。ベヒシュタインのフルコン2台での豪華なピアニストによるなかなか聞けない楽しいプログラム、お誘い合わせの上汐留ベヒシュタイン・サロンへぜひお越しください!

一般 ¥3,000 学生・サロン会員 ¥2,500 チケット予約先 pirotama2020@gmail.com

主催:ピロタマカルテット 協賛:株式会社ベヒシュタイン・ジャパン



<会場>

汐留ベヒシュタイン・サロン
〒105-0021
東京都港区東新橋2-18-2
グラディート汐留ピアノ1F

(定休日:火曜日、水曜日)

TEL:03-6432-4080

FAX:03-6860-4088

MAIL: salon@euro-piano.co.jp

大江戸線・ゆりかもめ汐留駅 徒歩4分 JR新橋駅 徒歩7分

Profile

有森 博

1992年東京藝術大学大学院修了。その後モスクワにて研鑽を積み現在に至る。これまでに野上登志子、水本雄三、小林仁、ナターリヤ・スースロワの各氏に師事。1990年第12回ショパン国際ピアノコンクール最優秀演奏賞。1991年岡山県芸術顕彰を受賞。1992年第5回シドニー国際ピアノコンクール第4位。1994年第10回チャイコフスキー国際コンクールピアノ部門入賞。1996年から2000年にかけてラフマニノフのピアノ作品全曲演奏会を成し遂げ、2001年にはプロコフィエフのピアノソナタ全曲演奏会を成功させるなど、ロシア作品に積極的に取り組む活動を展開し、ロシア音楽のエキスパートとして高い評価を受ける。1995年、2001年に小澤征爾指揮新日本フィルと協演の他、日本フィル、東京シティフィル、読売日響、九響、関西フィル、山形響、仙台フィル、神奈川フィル、東フィル、芸大フィル、ワルシャワフィル、ポーランド放送響などの内外の主要オーケストラ、著名指揮者との協演を重ねる。2004年には小澤征爾指揮サイトウキネンオーケストラのメンバーとしてヨーロッパ6カ国ツアー及び日本公演に参加。これまでにソロアルバムで19枚のCDがリリースされ、「展覧会の絵」、「チャイコフスキーにつつまれて」、「ロシアバレエの誘惑」、「メトネルの時間」、「ラフマニノフ変奏曲集」、「音楽の玉手箱2～露西亜秘曲集」ほか、その多くが特選盤に推薦されている。現在、カバレフスキーとラフマニノフの全曲録音が進行中。ロシア作品によるリサイタルシリーズを、東京文化会館（「ロシアの玉手箱」）、久世エスパスホール（「ロシアピアノリズムの系譜」）にて行っている。東京藝術大学教授。大阪音楽大学特任教授。桜美林大学客員教授。公式ホームページ <http://arimori.info/>

伊達 広輝

兵庫県出身。全日本学生音楽コンクールをはじめ、ショパン国際ピアノコンクールInASIA、寝屋川市アルカスピアノコンクール、豊中音楽コンクール、いしかわ国際ピアノコンクール他、多数入賞。これまでに牧村邦彦指揮エウフォニカ管弦楽団と共演。現在、師の有森博とのピアノデュオ「ピロデュオ」での活動も展開。芸大アーツイン丸の内「金曜日のピアニスト」、藝大早期教育プロジェクトランチコンサートにも出演し、ソロのみならず2台ピアノの研鑽を積みながら師と共に各地で演奏活動を行う。これまでに鍵谷玲子、芹澤佳司、佐藤裕美子、有森博の各氏、ソルフェージュを横田秀孝に師事。兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、現在東京藝術大学音楽学部2年に在籍中。

高井 玄樹

第15回ウィーン国際ピアニストコンクール第4位。第61回ハエン国際ピアノコンクールディプロマ。第8回ロザリオマルシアーノ国際ピアノコンクールセミファイナリスト。第2回パンパシフィック現代音楽コンクール第3位。第13回日本アンサンブルコンクール室内楽部門第1位。大学内にて藝大クラヴィーア賞受賞。梅田俊明指揮藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。埼玉県立芸術総合高等学校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部ピアノ科を卒業。現在は同大学院音楽研究科修士課程に在籍。これまでにピアノを本間由香、吉田スミ、羽田正明、三界晶子、有森博の各氏に師事。

間世田 采伽

1996年生まれ。宮崎県出身。3歳よりピアノを始め、池川礼子氏に師事。第6回エレナ・リヒテル国際ピアノコンクール第1位、第20回宮日音楽コンクールグランプリ、併せてANAヨーロッパ賞、第8回セシリア国際音楽コンクール室内楽部門第3位、第1回ダヌビアタレント国際音楽コンクール(ハンガリー)第3位、第37回飯塚新人音楽コンクール第2位、第15回ハチャトゥリアン国際コンクール(アルメニア)特別賞など、数々のコンクールにて入賞。また、霧島国際音楽祭マスタークラスやブダペスト国際マスタークラス、モスクワ音楽院冬期インターナショナルスクール等、国内外の講習会にてレッスンを受講し研鑽を積む。これまでにポーランド・国立クラクフ室内管弦楽団、ハンガリー・ドナウ交響楽団、東京藝大フィルハーモニー管弦楽団と共演。平成30年度青山音楽財団奨学生。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学音楽学部器楽科を卒業。卒業時に藝大クラヴィーア賞、アカンサス音楽賞、同声会賞を受賞。現在同大学大学院音楽研究科修士課程1年在学。ピアノを有森博氏に師事。

